

日本・香港友好議員連盟・香港視察

2018年5月1日～5月3日

高村正彦先生が勇退され、竹下亘・自民党総務会長が議員連盟の会長に就任した事に伴い、香港を訪問する事になり、三原朝彦・副会長、富田（副会長）、維新の丸山穂高議員、そして韓国から途中参加の赤羽一嘉議員と香港を訪問しました。

5月1日（火）午後3時45分

銀座のミシュラン三ツ星の「鮭よしたけ」の香港支店である「すし志魂」を訪ねました。同店も2014年から香港ミシュランの三ツ星を4年連続で獲得しています。

以下は、店主・柿沼利治さんのお話し。

食材は全て日本から輸入。すしネタは勿論の事、お米、それを炊く水も全て日本から。料金は3万5000香港ドル（×15～16倍で日本円換算）ランチは半額（2日前の予約が必要）。生産者からどの様に仕入れ、どの様な過程を経て、この料理になったかをiPadを使いながらお客様に見せて、料理のストーリーを理解してもらっていた。

香港を選んだのはロジスティクスの問題。朝、築地で仕入れた魚が、毎日確実に夕方届くのは香港だけ。シンガポールもダメ。九州、築地、北海道から一日2回輸入している。

香港の空港では、日本の手続きを信頼しており、貨物便から香港の地元業者が直接受け取れる。店で発泡スチロールを開けても氷が解けていない。

元々、香港でも「よしたけ」で営業していたのに、何故店名を変えたのか？という富田の質問に、ネットで香港に予約したお客様が、銀座の店に行ってしまった事が度重なり、対応を考えたとの事。ここまでグローバル化しているのかと驚いた。



午後4時45分～5時30分 九号水産視察

九号水産



- 1. 設立** 2017年6月オープン（4,700㎡）代表取締役が自ら日本で買付けを行っている日本産食品（水産物・加工食品）の販売やレストラン、香港の昔の漁村を再現したスペース等を有する複合施設。
- 2. メイ・チョイ代表取締役について**
1997年以来約20年間、香港への日本食品の輸入に取り組み、平成27年度日本食海外普及功労者として農水省より表彰。兄弟に、香港最大の財閥である新華集団総裁のジョナサン・チョイ氏がいる。



↑メイ・チョイさんは、大変明るく元気一杯。大阪の元気なお母さんという雰囲気。施設内を丁寧に案内して下さいました。一年の半分近く、日本の食品の買付けに自ら赴いているとの事で、すべての扱食品について自ら説明して下さいました。



午後7時30分～ 在香港日本国総領事館にて松田邦紀大使主催 公邸会食

香港の招待客の4名の方は、略歴にある通り各分野で、日本・香港の友好に尽くされており、お話しも最新の情報に富み、具体的な事例を教示して下さり、大変勉強になった。

特に私の隣席になったトニー・リーさんは、日本酒に造詣が深く、陳家禮さんと組んで、地元情報誌で日本酒の特集をされているのには驚かされた。

大相撲・宝塚の香港公演の要請があり、竹下会長を中心に議連として全力で実現させる事をお約束した。



香港招待客・略歴

① 袁文英・EGL Tours 社長

香港における大手旅行社。訪日インバウンド事業を手がけている。平成28年度外務大臣表彰受章。東日本大震災早い段階で訪日旅行の取り扱いを再開した。また、EGL及び個人として計1億2千万円の義援金を被災地のために拠出した。

② トニー・リー (Tony LEE) Umai Magazine 副編集長

グルメ紹介雑誌を紹介する Umai Magazine の副編集長。昨年の「日本秋祭 in 香港—魅力再発見」開幕式においてボランティアでお酒ブースを出展。

③ 陳家禮・コンシェルジュ香港代表

香港の法人向け情報発信マガジンコンシェルジュ香港を運営。

③ 葉鍵濠・香港中文大学日本研究学部講師

大学で教鞭を執るかたわら、ラジオのパーソナリティも務める。また、FBでのフォロワー数は20万人を超えるパワーブロガーでもある。

5月2日（水） 午前10時～ 葉建源・香港立法會議員らとの会談 於：立法会

予定していた議員以外の方も飛び入り参加して下さり、有意義な会談となった。

（日本側）：議員外交は、選挙で選ばれた者同士の外交。その観点からは、中国にカウンターパートが見つからない。皆さんは中国の人と自由に話せるのか？カウンターパートがいるのか？



（香港側）：中国全人代の香港代表でもある議員がいる。我々も政治家。普通に話せるのが大事。中国と日本との関係は解決難しい。時間がかかる。二国間では解決できない地政学的な問題もある。韓国・北朝鮮の問題も二国間では解決できない。香港のできる事は、中国の人達といろいろと話す事。日本は中国の台頭は不安だと思う。我々も中国の政治状況は完全なものとは思っていない。時間がかかるかもしれないが、中国の政治制度も国際社会に受け入れられる制度になっていくと思う。

（日本側）：習近平主席が、2期の任期制限を撤廃したのは理解できない。

（香港側）：① 習近平は長くやって、中国の夢を実現したいのだと思う。元々の共産党のリーダー達は、2期が適切だとの知恵を出していた。中国では、民主化の代わりに、中央集権進む懸念。民主化は後退してしまっている。中国の夢達成したら、元に戻って欲しい。
② 2期の制限撤廃は悪い事ではない。中国の憲法には、状況に応じて憲法変えられると書いてある。習近平が死ぬまでやる気だと言っている外国メディアがあるが、中国は状況に応じて変わっていくという事。
③ 寿命は延びているが、人気は延びたからといって終身ではない。習近平の安定性が求められたという事。



等々。話しは尽きなかったが、11時から会議が開かれるという事でお開きに。日本から持参した寺子屋の浮世絵（レプリカ）を大変喜んでいただきました。



午後1時～ ポール・チャン香港財政長官との昼食会 於：財政長官公邸

香港島の山頂近くの公邸へ。素晴らしいロケーションの庭で記念撮影。長官曰く「香港の簡単な家庭料理で申し訳ない。」と。一時間半以上にわたった昼食会は、立法会の議員二人も加わり、打ち解けた雰囲気、香港人の生活ぶりも良く理解できる程、豊富な話題で盛り上がりました。隣席の奥様も大変気さくな方で、御夫妻共、大の日本好きでした。食事も豪勢で大変美味しかったです。



午後3時～ キャリー・ラム香港行政長官との会談 於：行政長官事務所

(長官)・時宜を得た議員連盟の訪問を歓迎する。

- ・香港と日本との関係、年々強くなっている。貿易・観光・投資等の統計上も明らか。
- ・行政長官として、10月末、初めて日本を訪問する。前回の長官訪問は2009年。そのため万全の準備をしている。
- ・政治はすべてタイミング。昨年11月、ベトナムでのAPEC、総理の隣の席だった。2016年、昭恵夫人 香港の秋祭りに参加して下さった。できれば、安倍総理とミーティングの機会を設けて頂きたい。日本との友好関係深める為にも総理に是非会いたい。
- ・河野外務大臣が3月、日本の議会在忙中、香港を訪問してくれた。TPP、RCEP 香港は自由な貿易を支持する。
- ・RCEP一年で終わらせた(?)。先程、ジャカルタから帰ってきた。RCEPへの総理からのサポート頂きたい。
- ・一帯一路で香港は重要な役割を果たす。アジアの金融センターの役割を担う。中国の企業が海外へ出て行く時、香港が拠点となる。



(竹下団長)・韓国・北朝鮮、米・朝で頭がいっぱいだと思うが、総理に長官が会いたいとの思い伝える。

- ・9月に自民党総裁選がある。誰も見通しができない。10月の時点で、総理が安倍さんなのか私にも分からない。議連の会長として、新しい総理か古い総理か分からないが、必ず長官と会えるようインプットする。
- ・北東アジアは政治的・軍事的に大変な時期。
- ・経済的にフリー・マーケットなのがアメリカの方向か?自由マーケットで、日本と香港との連携重要。

(長官)・首相が変わる可能性はある。

- ・政治が変わろうとも、ビジネスの現場は続いている。日系企業1400社、内700社がアジア本社を香港に置いている。香港を使って、ビジネスを拡大してもらいたい。

(団長)・香港はアクセスしやすい。地政学的・経済的にまだまだ可能性ある。

(長官)・いろいろな大都市とつながっている。16の日本の都市と航空網。220の日本以外の都市と航空網。橋や高速鉄道の建設でアクセスが益々良くなる。

(団長)・日本の地方自治体の首長達は、中国に行く時躊躇するが、香港は自由。この違い大きい。

(長官)・一国二制度の下、自由がある。人権・財産守るのが私の義務。

- ・香港から日本へ、2017年220万人が訪問している。レジャー・祝日、日本に行く。
- ・日本の高齢化25%、香港は16%だが、32%に上がる。現在、専門家の人に日本に行ってもらい、テクノロジーを使いながらの介護、これを学びたい。

(団長)・日本は世界最高の高齢化。日本が乗り切れるか、世界の大実験場。私自身、団塊の世代。我々が亡くなれば、高齢化楽になる。

- ・一つお願いしたい。3年前、復興大臣をつとめた。福島県等の農産物、輸入制限がかかっている。安全性については、最高の検査行っている。安心してもらいたい。規制について、しっかり判断してもらいたい。

(長官)・昨年8月斎藤農水大臣と会った。段階的、漸進的に今年中にやる。福島だけは少し後になる。全県、同時にやらないのは心理的な問題。←こういう風に解決していく。

- ・アドバイスお願いしたい。長官として、初めて正式に日本に行く。オーストラリアで議員と勝手に会った。東京に行った時、レセプションやりたい。スケジュール等あって、議会開会中だと難しいだろう。



(団長)・議連として大歓迎する。心配しないで。時間の調整必要だが、朝・昼・夜・ティータイム、必ず大歓迎する。大船に乗ったつもりで。

(長官)・サンキュー

午後4時～ 香港そごう 視察

香港そごう

1. 歴史

- 1983年 株式会社そごうの100%子会社として設立
- 1985年 「銅鑼湾店」開店 (16,000㎡)
- 1993年 増床 (34,000㎡)
- 2001年 そごう株式会社から香港資本の利福国際集団 (Lifestyle International Holdings) に売却
- 2005年 「尖沙咀店」開店 (11,000㎡)

2. 利福国際集団の百貨店店舗

- ・香港2店舗 (2021年に3号店) を旧啓徳空港跡地にオープン予定 (10万㎡)
- ・中国国内に4店舗 (「久光百貨店」名義)

3 銅鑼湾店の特徴

香港で唯一、食品からファッション、家庭用品まで取り揃えた日本式百貨店。

- ・入店客数 (一日平均) : 8万人 (ローカル客 57%、中国人旅行者 41%)
- ・年間売上額 : 約 100 億円
- ・食品売場の日本産品取扱い比率 : 70%



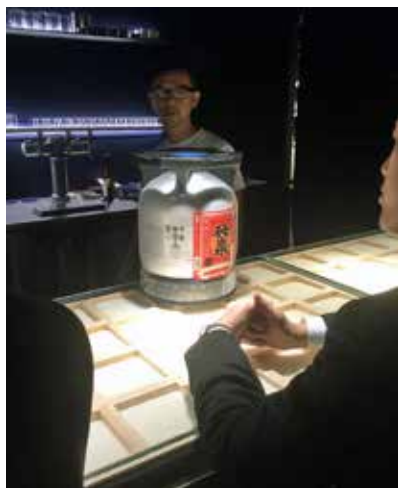
地下1階の食品売場には、日本の食材が全て揃っていた。値段は日本の5割増しの感じ。本格的な「オニギリ」が大人気。

午後5時～ S a k e C e n t r a l 視察

Sake Central

- ・2017年9月、香港の人気文化商業施設PMQにオープン。
- ・日本酒・梅酒・焼酎・泡盛・日本産ウイスキーなど日本の酒類と、食品・工芸品等を展示・紹介・販売。バーを併設。
- ・日本、アジア、ヨーロッパおよび北米からのインターナショナル・チームが運営。
- ・自治体へのPRスペースの提供の他、各種イベントを開催。

原料米を精米率毎に展示して、日本酒への理解を深めていた。日本酒を世界に広めたいという、若者の情熱があふれたお店でした。



午後7時～ 現地法人との会食 於：金紫荆

香港で活躍される日本人の方々から、香港の現状について、大変興味深いお話を数多くうかがう事が出来ました。広東料理も最高でした。